

ささえあい 安心

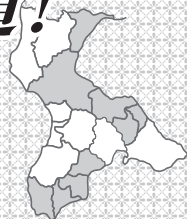
明るい 北海道!

北海道議会議員

ささだ 浩 ひろし

道政だより
第 24 号

発行：ささだ浩事務所
〒049-3107 北海道八雲町本町84
TEL 0137-62-3600/FAX 0137-62-3223
E-mail : info@sasada-hiroshi.com
Web : http://sasada-hiroshi.com



コロナ禍にも負けない、
強い地域づくりを目指して

新型コロナウイルス感染症により、地域の公務やイベントなどの中止、さらには活動自粛が続きました。この間、道議会では知事の発した独自での緊急事態宣言や学校休業、補正予算やその執行状況などへの対応が中心の活動となりました。

北海道も第2波・第3波、秋冬対策に力を入れながらも「どうみん割」を始めとする経済活動の再開に向けて始動しています。

今回の道政だよりは3月の第1回、6月の第2回定例会報告が中心となりますが、ご一読いただければ幸いです。

北海道議会議員

笹田 浩

令和2年第1回定例会報告

3月25日(水)第1回定例会道議会が閉会しました。2月27日に開会し、2020年度一般会計予算案、「ウポポイ開設を契機とする共生社会の実現に関する決議」などを可決し閉会しました。私は3月11日に代表質問に登壇し、新型コロナウイルス感染症対策、新年度予算編成、キタデミ1賞問題及び用地取得業務における公金不適切事務処理、行財政運営、IR、幌延深地層研究計画、JR北海道路線維持問題、人権政策、給特法改正及びGIGAスクール構想などについて質問しました。

代表質問

質疑内容と答弁

※詳細はささだ浩ホームページをご覧ください

◎IRについて

【質問】 カジノを中心とする統合型リゾートIRを巡り、現職国議員が逮捕されるなど、IR事業に対する道民の不信感はさらに増幅している。知事は区域認定申請を見送り、新年度予算への調査費計上を断念したが、一方、IR誘致に向けた専任参事を配置する。職員定数が増えない中、専任参事の配置は見直すべき。
【知事】 今回の認定から7年後に行われる国における区域数の検討を見

据え、計画性をもって準備をすすめる。現候補地での整備の可能性を改めて検証する。北海道らしいIRのコンセプトづくりに向け検討していく。また、限られた人的資源を有効活用し、IRを担当する課長職を配置し、着実に進めていく。

【再質問】7年後を見据えて専任参事を配置したとしているが、一方で、準備に向けた新年度予算を組んでいない。7年後の仮定の話に限られた人的資源を充てるくらいならば、人口減少や地方創生に集中し、IR誘致を断念すべき。

【知事】IRは幅広い効果が期待できることから、7年後の国における区域数の検討を見据え、計画性をもって準備を進めていく。

【再々質問】「7年後を見据え、計画性をもって」というが来年度は何をするか、スケジュールが示されるべきではないか。また、決まっていないうのであれば、場当たりの対応ではなく無駄な労力・経費をかけず、一旦断念すべきと考える。

【知事】来年度は、候補地の検証をはじめ、北海道らしいIRのコンセプトづくりに向けた事業の継続性や波及効果といった課題への対応など、計画性をもって準備を進めていく。

◎JR路線維持問題について

【質問】法改正まで1年余りとなった中、JR北海道の経営再生は正念場を迎えている。考え方や提言をまとめるには、いまだ見直し路線対象

の地域協議会で協議が続いているが、自治体やJR北海道との連携は十分図られたものと理解して良いか。また、知事は「利用促進以外の支援は行わない」と明言しているが、地域に支援を求める国の考え方とは大きな隔たりがある。国との協議に臨む知事の姿勢を問う。

【知事】持続的な鉄道網の確立に向けた基本的な考え方の取りまとめに当たっては、道議会における議論、市町村、関係団体からの意見を十分踏まえ、JR北海道にもその内容を確認しながら整理をした。また、国への提言案はオール北海道での提言に向け、市町村や関係団体はもとより、JRとも意見交換を行ってきた。

道では、地域の意見、道議会の議論を踏まえると欠損補助や鉄道施設の老朽更新等について地域負担は受け入れられないとの認識のもと、国との意見交換を重ねてきているが、情報が十分ではないことから、国やJRに情報提供を求めていく。

【再質問】地域負担を求める国との協議は容易ではない。国の姿勢を崩すには北海道の総意であるという姿勢を強く打ち出すことが不可欠。具体的にどのような効果のある方策を検討しているか。

【知事】道としては法改正に向け、鉄道網の重要性に関する国民的な関心や応援機運醸成のため道内外でのプロモーションや情報発信を行う。また、市町村、関係団体と連携しながらオール北海道として効果的な取

組となるよう検討する。

【再々質問】沿線自治体やJR北海道、市町村会と事前調整が図られたとは思えない。十分な予算措置もされていない。今後の約半年が山場であるという強い意識の下、取組を強化すべきと考える。

【知事】鉄道の利用促進に向けた取組を道民運動として力強く展開し、私自身が先頭に立つて全力で取り組む。

◎防災について

【質問】今年2月5日、神奈川県において生活道路脇の斜面が崩れ、巻き込まれた若者が死亡するという痛ましい事故が起きた。事故現場は「土砂災害警戒区域」に指定されていたが、こうした生活道路を道はどのように把握し、安全対策を行っていくか。

【副知事】土砂災害の恐れのある土砂災害警戒区域の指定を推進。指定には被災の恐れのある家屋や施設、道路の状況なども把握し、その内容を市町村に対し提供している。加えて、住民説明会を行っているほか、警戒区域指定後は道ホームページで公表している。神奈川県での事故を踏まえると、警戒区域の存在を道路利用者などへ周知することも重要と考えており、そのための対策を市町村などと早急に協議を進めていく。

【質問】静岡県では、地震・津波発生時における減災目標を具体的な数値として設定しており、官民一体により防災・減災への意識が非常に高まっている。道は防災・減災の目標

値をどのように設定し、新年度予算ではどのように反映しているか。

【知事】道では平成24年に道独自の太平洋沿岸の津波浸水想定を作成した。国では現在、最新の知見により千葉県以北の太平洋海域における津波断層モデルを検討。これに基づき地震防災戦略を見直すものと承知している。道では、国の断層モデルの公表後、速やかに有識者による検討組織のもと、国のモデルに基づく新たな津波浸水想定の設定に着手する。関連予算を計上している。太平洋地域において、巨大地震の発生が危惧される中、本道の地震対策は喫緊の課題と認識、防災訓練や防災教育を通じて道民意識の向上、減災目標の早期策定に全力で取り組む。

令和2年第2回定例会報告

第2回定例会は6月16日に開会。令和2年度一般会計補正予算、「新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書」などを可決し、7月3日に閉会しました。冒頭、道民の旅行代金助成をはじめとする新型コロナウイルス対策費300億4700万円を盛り込んだ令和2年度一般会計補正予算、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた対応として、全道議会議員の期末手当の2割に相当する4456万円を議員報酬から削除する条例改正案の先議を行い、沖田清志議員(苫小牧市)

が道独自の対策、「北海道スタイル」の取組、医療提供体制の充実強化、経済活動などについて質しました。

代表格質問では、第3波以降に備えるためにも直ちに中間検証を行うべきと質したのに対し、知事は「秋口を中途に一定の取りまとめを行う」という考えを示したが、わが会派からは「それでは遅い。8月中旬頃を目途に検証を行い、秋以降に備えるべき」と強く求めました。

経済再生の道筋については、再生戦略やロードマップ策定の必要性を質し、知事は北海道スタイルを道民運動として展開し、経済回復を図るとの認識を示したものの「北海道スタイル推進協議会」は経済団体や一次産業団体が構成されており、医療や福祉系の団体が入っていないなど、事実上、経済対策を優先した

構成となっています。

感染者や医療従事者とその家族に対する偏見差別・誹謗中傷への対応へ、実効ある対策を求め、知事は各種広報媒体や知事会見を通じて、感染症に対する正しい理解の促進と人権啓発に努めるとの考えを示しました。

「どうみん割」は、旅行需要の早期回復を目的につくられたが、第一次申請のスタートから完売したものの、苦情も殺到しており、割当数の設定に見込みの甘さがあったと言わざるを得ません。

定例会は最終日に、新型コロナウイルス感染症により深刻な影響を被った花卉産業界者や関係団体の持続的な発展と、花卉振興の促進を目的とした「北海道花きの振興に関する条例案」を可決し、8月7日を「北海道花の日」としました。

ささだ浩道政だより

ささだ浩ホームページに掲載されたブログから抜粋しています。ささだブログは日々の活動状況を笹田自身が更新しています。また、フェイスブックでは更に詳細な活動報告をしています。「いいね」で笹田への激励をお願いいたします。詳しくは<http://sasada-hiroshi.com> → <http://sasada-hiroshi.com>

松前町新年交礼会

1月4日は松前町の矢野旅館で町主催の新年交礼会が開催されました。交礼会では石山町長さんから昨年未だに完成した肉牛改良センターへの期待と抱負をお話しされ、2年後に試食会を計画していることなどが

語られました。私からも人口減少対策と交通網整備などについてお話しさせていただきました。
寒中みそぎフェスティバル(木古内町)
1月14日は木古内町の大きな冬のイベントである「寒中みそぎフェス

ティバル2020」が催されました。佐女川神社まで約2kmの提灯行列に参加しながら、水ごりの勇姿を拝見させていただきました。

カキ・ニラまつり(知内町)

2月16日は知内町の「第22回しりうち味な合戦冬の陣カキVSNiラまつり」にお邪魔し、ご挨拶させていただきました。西山町長さん、伊藤議長さんはじめ今年も歓迎していただきました。約1万人近くが来場するこのイベントは町民だけでなく近隣から旬のカキ、ニラを味わおうと来場し、直売会場でしつかりとお金も落とししていきます。



地方財政の充実・強化

4月10、13日は渡島・檜山管内の自治体を自治労道南地方本部と高橋亨道議会副議長と私で地方財源の確保を求める意見書の採択を要請しました。2021年度の地方一般財源総額は6月頃に作成される「骨太方針2020」でその方向性が示されます。社会保障、防災、地域交通対策、人口減少対策、新型コロナウイルス感染症対策など、新たな政策課題や住民ニーズに対応し得る財源の確保が絶対的に必要です。各自治体から地方財政の重要性を国に訴えていくため、議会には意見書の取組、町長にはあらゆる機会を通じた地方交付税の重要性

を訴えていただくよう要請しました。

知事要望

4月20日、民主・道民連合会派は3回目となる新型コロナウイルス対策緊急知事要望を実施しました。国の対策補正予算は本日閣議決定され本格審議がスタートしますが、北海道として予算は28日の臨時道議会にて決定する予定であることからの実施です。道民に対して協力要請する以上、補償も一体で速やかな執行をもとめました。

地域医療確保要請

昨年10月に厚生労働省は再編・統合の再検証を求める医療機関を公表しました。この問題で、自治労道南地方本部の川村執行委員長と八雲・長万部町長に対して要請させていただきました。民間病院が無い町では町立で病院を経営せざるを得ません。新型コロナウイルス。新型コロナ対策など各町の医療体制の確保はまったなしです。地域に必要な医療提供体制が確保されるよう要請しました。



これまでの主な活動記録

- | | | | |
|-----------|--|-----------|-------------------------------|
| 1月1日 | 八雲神社歳旦祭 | 2月19日 | 北渡農民連盟定期総会、自治労八雲町職労定期大会 |
| 1月3日 | 八雲町成人式（八雲地域、熊石地域） | 2月20日 | 当初予算会派説明、新庁舎移転準備会 |
| 1月4日 | 松前町新年交礼会 | 2月22日 | 八雲アイヌ協会総会・懇親会 |
| 1月6日 | 八雲消防署出初式 | 2月23日 | 落部連合婦人部定期総会 |
| 1月7日 | 農政委員会、北海道林業人新年交礼会（札幌）、連合北海道新年交礼会（札幌） | 2月27日 | 連合北海道との連携会議、第1回定例会開会（3月25日まで） |
| 1月8日 | 少子・高齢社会対策特別委員会 | 3月9日 | 給特法会派学習会 |
| 1月9日 | 各農事組合新年総会（2月初旬まで） | 3月10日 | 新型コロナウイルス対策知事要望（第2回） |
| 1月10日 | 管内新年調査（勝部参議同行）、八雲地区連合新年交礼会、八雲商工会新年交礼会 | 3月11日 | JR北海道路線維持対策プロジェクト、代表質問で登壇 |
| 1月11日 | 落部漁協船魂祭・大漁祈願祭 | 3月19日 | 自治労地域医療・公立病院意見交換（札幌） |
| 1月12日 | 私鉄総連函館バス「団結旗開き」 | 3月24日 | 終日委員会 |
| 1月13日 | 八雲青年会議所新年交礼会 | 3月25日 | 第1回定例会閉会 |
| 1月14日 | 寒中みそぎフェスティバル（木古内） | 3月26日 | 渡島振興局長との意見交換（函館） |
| 1月15日 | 八雲ボランティア新年親睦会 | 4月1日 | JR北海道労組意見交換会（札幌） |
| 1月17日 | JA新函館八雲基幹支店新年交礼会 | 4月7日 | 民主議会ネット打合せ会議、農政委員会 |
| 1月19日 | JP労組函館北東支部団結旗開き | 4月8日 | 少子・高齢社会対策特別委員会 |
| 1月20日 | 長万部、八雲、森地域調査 | 4月10日、13日 | 地方財政確立意見書採択要請オルグ（渡島・檜山管内） |
| 1月21日 | 北渡島建設協会新年会 | 4月20日 | 新型コロナウイルス対策知事要望（第3回） |
| 1月22日 | 七飯、鹿部地域調査 | 4月23日 | 補正予算会派説明 |
| 1月23日 | 残土対策について道との意見交換 | 4月27日 | 道議会各派幹事長会議 |
| 1月24日 | 河川調査報告会（せたな）、森地区連合新年旗開き | 4月28日 | 臨時道議会 |
| 1月26日 | 八雲町身体障害者福祉協会新年会 | 5月12日 | JR北海道路線維持問題勉強会（札幌）、農政委員会 |
| 1月27日～29日 | 農政委員会調査（熊本・福岡・山口） | 5月13日 | 少子・高齢社会対策特別委員会 |
| 1月30日 | 黒岩実行組合新年会 | 5月26日 | 地域医療確保要請（八雲・長万部） |
| 2月1日 | 八雲建設協会新年交礼会 | 6月1日 | 各派幹事長会議 |
| 2月2日 | おおさか誠二新春の集い（函館） | 6月2日 | 農政委員会、自治労政治フォーラム道議団会議 |
| 2月3日 | 知事に関する新年度予算要望・提言、自治労北海道本部政治フォーラム定期総会 | 6月3日 | 少子・高齢社会対策特別委員会 |
| 2月4日 | JR北海道労組意見交換会、「北海道受動喫煙の防止に関する条例」に係る勉強会、農政委員会、第1回定例会に向けたヒアリング、自治労政治フォーラム | 6月9日 | 1週間前議運、補正予算ヒアリング |
| 2月5日 | 少子・高齢社会対策特別委員会 | 6月15日 | 農政委員会、少子・高齢社会対策特別委員会 |
| 2月8日 | 道南医療定期総会、森町漁業者との意見交換、おおさか誠二新春の集い（森） | 6月16日 | 第2回定例会開会（7月3日まで） |
| 2月9日 | 八雲さむいべや祭り、おおさか誠二新春の集い（知内・木古内） | 6月17日 | 新型コロナウイルス対策知事要望（第5回） |
| 2月11日 | 北海道季節労八雲支部定期大会 | 6月27日 | 大関牧場安全祈願祭（八雲） |
| 2月14日 | 落部婦人ボランティア会新年会 | 7月3日 | 終日委員会、本会議（第2回定例会閉会） |
| 2月15日 | 高齢者ふれあい演芸会（熊石）、おおさか誠二新春の集い（長万部）、長万部地区連合定期大会・旗開き、ささだ浩新春の集い | 7月7日 | 管内地域調査再開 |
| 2月16日 | カキ・ニラまつり（知内） | 7月18日 | 道連常任幹事会 |
| 2月18日 | 新型コロナウイルス対策緊急知事要望 | 7月30日 | ウボポイ視察調査（白老） |

毎年夏に開催している「ささだ浩ビールパーティ」は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、今年中止とさせていただきます。感染症が一日も早く収束し、来年は開催できますよう、祈念いたします。